

防災の心得

通常時

- ① 普段から避難口や消火器・避難具等の確認を心がけてください。
- ② 薬品・実験器具等は通常の使用時から十分安全に配慮してください。

災害発生時

- ① 揺れを感じたらまず、丈夫な机やテーブル等の下に身を隠しましょう。
- ② 慌てて外へ飛び出すことなく、落ち着いて行動しましょう。

【学内にいる場合】

- ・教職員の指示に従い避難してください。
- ・自分の判断で帰宅せず、大学からの指示に従ってください。

【学外にいる場合】

- ・YCUポータルサイトまたは大学からの防災情報メールを確認してください。

★学内・学外に関らず、津波の危険を感じた場合には、できるだけ高いところ(標高5m以上の高台や堅牢な建物の3階以上)に避難するようにしましょう。

※各キャンパスの一次避難場所については、10～13ページを確認してください。

※災害発生時等の休講については、24ページを確認してください。

◆防災情報メール

災害時の休講情報や被災時の安否確認等、大学独自の防災情報がメール配信されます。1年ごとに全登録データを削除しますので、毎年、4月初め頃に必ず登録してください。

※メールの情報料は無料ですが、通信料は受信者の負担となります。

○登録方法

携帯電話やパソコンから次ページのアドレス宛に空メールを送ってください。折り返し確認メールが届いたら登録完了です。

※詳細は次ページを確認してください。

◆災害に備えて

災害時に備えて、日頃から家族との連絡方法を話し合っておいてください。有事の際には各通信会社が行う災害用伝言ダイヤル等を活用しましょう。

【NTT災害用伝言ダイヤル(171)の使い方】

- 「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行ってください。
- ※携帯電話でも災害用伝言板サービス等を行っています。各社のWebサイトで確認してください。

◆協力しあって

八景キャンパスは広域避難場所、附属2病院は災害医療拠点病院に指定されており、災害発生時には多数の方の避難や救護が予想されます。

救助活動や復旧活動に参加する等、教職員や地域の方と力を合わせて行動しましょう。

